

### 基本情報



【年 齢】  
44歳  
【出身地】  
大分県大分市  
【転出元】  
東京都台東区  
【前 職】  
建築設計業  
【活動時期】  
R4.11～R7.10

### 協力隊に応募したきっかけ

長く住める場所を求め、ふるさとと同じ地形を探して鋸南町の山間部の麓、旧佐久間村にたどり着きました。滞在するほどに、生きた里山の暮らしに新鮮な驚きと魅力を感じ、少しでも後世まで存続してほしいと願うと共に、自身も農業を習得する中で自分の作る建築を組み直していきたいと思いました。3年の間は田畑に集中できること、この町で少しでも長い時間を過ごしたいという思い、自分の感じるこの地の魅力を一人でも多く伝える活動が募集要件に合致すると聞き、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

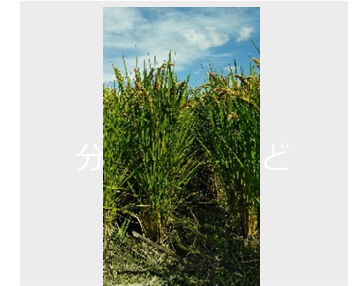
自然農の野菜を地元の子もたちに食べてもらおうと学校給食への寄付を望みましたが、制度上難しく実現しませんでした。代わりに1日の特別企画として準備する運びとなりました。今は「1DAY オール地元食材&半分オーガニック」と仮題し、来年度提出の予算案に載せられるよう協力者を集めています。

任期後は農と建築が融合する働き方を開始します。地域に点在する茅葺家屋を拠点として農業体験／自然体験者を迎え、昔暮らしの知恵を肌で学べる場所を整備していきます。

### 活動内容

#### ●1. 自然農の実践

鋸南町の田んぼに通い始めてまず土の豊かさに驚きました。見たことのない種類の草や虫たちが溢れていました。肥料を入れなくて作物が育つ土地の優位性を実証し、若者の就農の敷居を下げべく、機械なしの手作業「自然農」で2反の農地管理に挑戦しています。1年目の稲作は豊作でした。2年、3年と続けていきたいです。



#### ●2. 既存資源の活用実験

活動開始して、若い世代の流出を嘆く声をたくさん聞きました。豊富な資源に囲まれながら勿体無いと感じました。元手が掛からない耕作放棄地や自生している植物を有効活用できないか、1反の放棄地に繁茂するヨシを刈り、茅屋根の資源として活用を模索中です。また四季を通じて花が咲く土地柄を活かした養蜂を習っています。



#### ●3. 交易

上記1、2の土地ならではの農産物／農法を通じて交易を図ります。①鋸南町で手に入る資材のみで雑穀を栽培し、特産品の一つとなるようパッケージ開発・販路開拓。②農業体験/茅刈体験の希望者をお世話し、より良いサービスを提供できるよう研究中。町外の人にとっても、なくてはならない町になることを願っています。



### 連絡先

鋸南町地域振興課  
電 話：0470-55-4805  
メール：nourin@town.kyonan.lg.jp